

1.環境

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 発注③ 仕入 出庫 棚卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

グループ	〇IS	許可番号	〇IS 1234号
企業名	デモ薬局	開設者名	オークラ情報システム株式会社
薬局名	本店	薬剤師名	〇〇 ▲▲
郵便番号	123-4567	前回起動日	2022/11/18
住所	香川県丸亀市中津町1515番地	データ保持期間	730日
電話	0120-11-2222	入力データ初期日付	当日日付
FAX	0120-33-4444	小数点計算	四捨五入
月締日		月締日	月末日
薬価改定日		薬価改定日	2022/04/01

消費税込設定

入力画面終了後の再計算	在庫情報を再計算する	修正可能期限	2022/04/01 以前のデータは修正できない
毎日朝の再計算処理	再計算処理を実行する	テストフラグ	<input type="checkbox"/>
終了時の処理	システム終了		

閉じる

設定更新

項目名	説明
グループ	薬局グループ名を設定
企業名	薬局法人名を設定 分譲納品書や発注書などの帳票に使用
薬局名	薬局店舗名を設定 分譲納品書や発注書などの帳票に使用
郵便番号	郵便番号を設定 分譲納品書や発注書などの帳票に使用
住所	住所を設定 分譲納品書や発注書などの帳票に使用
電話	電話番号を設定 分譲納品書や発注書などの帳票に使用
F A X	FAX番号を設定 分譲納品書や発注書などの帳票に使用
ユーザ変更	T O P画面のユーザ変更を可能にし、データ確定時の担当者名を更新するかの設定
メニュー初期表示順	T O P画面の薬品の初期並び順の設定
メニュー初期ページ	T O P画面の右半分の初期表示ページの設定
入力画面終了後の再計算	入力画面を閉じるときに毎回再計算処理をして在庫情報を更新する
毎朝の再計算処理	毎朝起動時に再計算処理を実行して在庫情報を更新する
終了時の処理	ユーザごとの入力を管理しているときに使用
許可番号	自店舗の開設許可番号を設定
開設者名	自店舗の開設者名を設定
薬剤師名	自店舗の管理薬剤師名を設定
前回起動日	前回起動した日
データ保持期間	在庫履歴を過去何日保持するかの設定
入力データ初期日付	データ入力時（社外、社内、その他入出庫）の初期表示日を設定
小数点計算	小数点以下の表記
月締日	帳票①の「期間帳票の初期日付」の設定に連携している
薬価改定日	薬価改定時期にシステム日付をみて自動設定
消費税設定	消費税率を設定
修正可能期限	設定不要（利用できない）
テストフラグ	設定不要

2.レセコン

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 発注③ 仕入 出庫 棚卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

レセコン

医薬品パス マスタ取込日 取込対象

医薬品マスタ

処方パス 処方取込日 取込対象

処方データ 取込調剤日 処方取込期限

NSips取込 NSips取込を行う場合、処方パスはindexフォルダ、dataフォルダがあるフォルダパスを指定してください

リアルタイム取込 1分間隔でNSipsから出力された処方データを取り込む

取込パス 調剤日の判定

① 未来処方も併せて取り込む(再計算が遅くなる場合があります)

② 患者情報を取り込む

③ 更新情報は同じタイムスタンプの"D"と"A"区分が出力される

④ SIPS自動取込で予製処方を自動作成しない

⑤ 予製更新マスタを作成する際、セット日数を設定する

予製処方作成時の一致割合

薬品追加設定

⑥ 取込チェックの初期値をチェック済にする

⑦ 未来処方の使用量は前回取込の差分を取り込む

⑧ レセコンデータをバックアップする

⑨ 最新の処方を取り込むと「稀品」のチェックを外す

⑩ 最新の処方を取り込むと「取扱禁止」のチェックを外す

⑪ NSipsデータでバラ数を自動管理する

⑫ 錠剤をバラ管理する

⑬ 軟膏をバラ管理する

項目名	説明
レセコン	薬VANと連携するレセコンの種類を指定する
医薬品パス	レセコンの医薬品マスタデータを保存している場所
マスタ取込日	医薬品マスタを取込した直近の日
取込対象	取込をする対象のファイル
医薬品マスタ	レセコンの医薬品マスタデータのファイル名
処方パス	レセコンの処方使用量データを保存している場所
処方取込日	処方データを取込した直近の日
取込対象	取込をする対象のファイル
処方データ	レセコンの処方使用量データのファイル名
取込調剤日	取込された最終調剤日
処方取込期限	現在の旧薬価よりも前の薬価改定分の処方データを取込しない
NSips取込	期間指定の処方をNsipsで取りこむ(基本はCSV取込)
リアルタイム取込	SIPSデータのリアルタイム取込(1分間隔で出力されたデータを取込)
取込パス	SIPSデータが保存されるフォルダを指定
調剤日の判定	SIPSデータの調剤日の判定基準
チェック項目①	未来処方も併せて取り込む
チェック項目②	患者情報(氏名など)を取り込む
チェック項目③	更新情報は同じタイムスタンプのDとAが出力される
チェック項目④	SIPS自動取込で予製処方を自動作成しない
チェック項目⑤	予製更新マスタを作成する際、セット日数を設定する
薬品追加設定	薬VANで薬品追加をするときのキーコード
チェック項目⑥	取込チェックの初期値をチェック済にする
チェック項目⑦	未来処方の使用量は前回取込の差分を取り込む
チェック項目⑧	レセコンデータ取込時にファイルをバックアップ
予製処方作成時の一致割合	半分以上一致
チェック項目⑨	最新の処方を取り込むと「稀品」のチェックを外す
チェック項目⑩	最新の処方を取り込むと「取扱禁止」のチェックを外す
チェック項目⑪	NSipsデータでバラ数を自動管理する
チェック項目⑫	錠剤をバラ管理する
チェック項目⑬	軟膏をバラ管理する

3.発注

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 発注③ 仕入 出庫 棚卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

<p>安全在庫収束日 <input type="text" value="27日"/></p> <p>発注書出力方法 <input type="text" value="発注確定時に出力する"/></p> <p>発注書出力種別 <input type="text" value="バーコード無し"/></p> <p>発注控出力方法 <input type="text" value="毎回確認する"/></p> <p>発注控種別 <input type="text" value="備考表示"/></p> <p>発注控出力順 <input type="text" value="発注先順"/></p> <p>発注控分割出力 <input type="text" value="分割出力しない"/></p> <p>発注承認書 <input type="text" value="発注承認書を利用しない"/> <small>発注承認書を発行しないと確定できなくなります</small></p> <p>分譲依頼書 <input type="text" value="分譲依頼書"/></p> <p>分譲依頼書出力 <input type="text" value="確認を行わない"/></p> <p>発注初期表示順 <input type="text" value="発注日、登録順"/></p> <p>発注初期ページ <input type="text" value="共有情報"/></p> <p>発注日退避 <input type="text" value="退避しない"/></p> <p>納品日指定を行う <input type="checkbox"/> 毎月 <input type="text" value="25日"/> 以降</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <h5 style="margin: 0;">発注追加時設定</h5> <p>発注数計算方法 <input type="text" value="基準確保在庫を上回る量"/></p> <p>発注包装選択 <input type="text" value="前回発注包装"/></p> <p>発注先設定 <input type="text" value="包装単位の設定を優先する"/> <input type="checkbox"/> 再発注時の発注先をマスタ設定値とする</p> <p>不動店舗判定 <input type="text" value="判定しない"/> <small>判定を行うと確認チェックされない状態で画面に追加します</small></p> </div> <p>バーコード発注 <input type="text" value="3"/></p> <p>確定方法 <input type="text" value="発注確定"/> <small>画面が「3」の場合有効です</small></p> <p>確定後の処理 <input type="text" value="通信画面に遷移しない"/></p> <p>麻薬発注方法 <input type="text" value="オンライン"/></p> <p>発注送信判別 <input type="text" value="自社店舗を含む"/></p> <p>定期自動発注 <input type="text" value="利用しない"/></p>
---	--

項目名	説明
安全在庫収束日	指定した日付に在庫数を安全在庫数に収束させる設定 ※理論発注数で発注を行う時のみ利用
発注書出力方法	発注書を出力するタイミングの設定
発注書出力種別	発注書にバーコードを出力する設定
発注控出力方法	発注控を出力するタイミングの設定
発注控種別	発注控に棚番を表示させる設定
発注控出力順	発注控を出力する並び順の設定
発注控分割出力	発注控を卸発注分、自社店舗発注分で分けるかどうかの設定
発注承認書	発注承認書機能を有効にする
分譲依頼書	分譲依頼書の出力フォーマットを設定
分譲依頼書出力	分譲依頼書出力時に出力確認を行うか否かの設定
発注初期表示順	発注画面のデータの初期並び順を指定
発注初期ページ	発注画面の右半分の初期表示ページの設定
発注日退避	発注画面で自動表示された発注日を手動で変更した場合、変更前の日付を備考欄に保存する
納品日指定を行う	納品日指定（翌月月初）して発注する機能を有効にする
発注数計算方法	発注数量の計算指定
発注包装選択	発注包装の指定
発注先設定	発注先の取得先
チェック項目	再発注時の発注先をマスタ設定値とする
不動店舗判定	発注データ追加時に、共有店舗内に指定の不動区分の店舗があれば確認チェックを外してデータを追加する ※確認チェックがついていないデータは、社内発注が行える薬品である事を見分けるため
バーコード発注	基本は「3」で設定すること（「1」、「2」は旧バージョン仕様）
確定方法	バーコード発注データを一旦発注→登録画面で確認するか否かの設定
確定後の処理	発注確定した後、通信画面を表示させる設定
麻薬発注方法	麻薬をオンラインで発注するか否かの設定
発注送信判別	発注日の判定に自社店舗を含めるか否かの設定
定期自動発注	各卸ごとに指定した曜日・時間になったら自動で発注データを送信

4.発注

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 仕入 出庫 棚卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

来局予定に関する設定

処方間隔月数 過去

来局予定日が 翌月以降の 以降なら
発注日を とする

発注候補期間 赤 以内
黄 以内
未設定(=0)の場合以下の日付で判断します
赤:発注送信日 黄:7日前

予製作成で在庫が不足した場合赤とする

推奨品発注

発注確定(推奨品)

ランキング表示 まで
※0はランキングを全て見せます

予定数量の計算対象設定

発注済データ +

発注画面 +

社内在庫画面 +

不動在庫画面 -
※仕入画面のデータは常に含まれます
※未来日の確定済仕入も含まれます
※「未確定社内在庫を含む」と、未来日の確定済の社内在庫も含まれます

予定数計算方法

発注日が 日前までの発注を予定数に含む
※未設定の場合は7日間とする

閉じる

項目名	説明
処方間隔月数	来局予定を計算するために処方データの過去実績を参照する期間
来局予定日	来局予定日が翌月以降の指定日以降の設定
発注日	来局予定日が上記設定に該当する薬品の発注日を自動的に設定
発注候補：赤	発注候補：赤で抽出・表示する期間
発注候補：黄	発注候補：黄で抽出・表示する期間
チェック項目	予製を作成したときに在庫数が安全在庫数を下回ったら発注候補赤にする
推奨品発注	推奨品機能を使って発注先を選択する機能
発注確定（推奨品）	推奨品機能を利用している店舗で使用
ランキング表示	推奨品ランキングの表示設定
発注済データ	予定数の計算対象を卸への発注のみにするか、卸、店舗の両方の発注にするか設定
発注画面	発注画面にあるどのデータを予定数にするか設定
社内在庫画面	社内在庫画面の未確定分を予定数に含めるかどうか設定
不動在庫画面	不動在庫画面の保留分を予定数に含めるかどうか設定（マイナス）
予定数量計算方法	発注済予定数を入庫データで消し込むための設定
発注を予定数に含む	発注日が指定日前までの発注を予定数に含む

5.発注

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 発注③ 仕入 出庫 欄卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

安全在庫対象期間を自動で計算する 季節変動期間 日
 出庫頻度ごとに安全在庫算出方法を設定する

出庫頻度	算出期間	安全在庫	確保在庫	掛率	未来予測	発注開始日	発注終了日
出庫頻度 ◎ 10回以上	60	連続 3日	5日間内の処方計	1.00	<input type="checkbox"/>	14日前	0日後
出庫頻度 ○ 3回以上	90	連続 3日	5日間内の処方計	1.00	<input type="checkbox"/>	14日前	0日後
出庫頻度 △ 2回以上	120	連続 3日	5日間内の処方計	1.00	<input type="checkbox"/>	14日前	0日後
出庫頻度 ▲ 上記未滿	180	連続 3日	5日間内の処方計	1.00	<input type="checkbox"/>	14日前	0日後

安全在庫・発注数計算・在庫月数などの計算対象データ

処方を含む(必須)
 社内出庫を含む
 社外出庫を含む

項目名	説明
季節変動期間	1年前(固定)の今日から"季節変動期間"に設定している期間の安全在庫を算出
出庫頻度	処方の出庫頻度
算出期間	安全在庫を算出する期間
安全在庫	安全在庫数の計算対象とする日数
確保在庫	発注設定が「基準確保在庫を上回る量で発注」の際にどのくらい発注をするかを指定
掛率	確保在庫として計算された量の掛率
未来予測	来局予定がいつ頃になるかを計算し、指定した未来予測期間に入ったら発注候補の計算対象になる
発注開始日	未来予測時に来局予定日をみて発注候補あがる開始期間を指定
発注終了日	未来予測時に来局予定日をみて発注候補あがる終了期間を指定
チェック項目	安全在庫、発注数計算、在庫月数の計算の対象にするデータ

6.仕入

システム設定

環境
レセコン
発注①
発注②
発注③
仕入
出庫
欄卸
分析
送受信
帳票①
帳票②
帳票③
その他
有効期限掛率

仕入単価チェック 卸の値引率 ▼

最終在庫先 記憶しない ▼

最終在庫単価 卸仕入の場合は記憶する ▼

最終卸仕入数 全て記憶する ▼

最終在庫メーカ 全て記憶する ▼

仕入控出力方法 出力しない ▼

入庫初期表示順 納品日・伝票NO順 ▼

入力画面自動計算 算出する ▼
※入庫系の全画面に適用されます

値引明細入力 値引明細を入力しない ▼

伝票入力包装選択 包装は選択しない ▼

伝票入力確定方法 在庫確定 ▼

仕入データの確定日 確定日を設定しない ▼
※発注データ確定時に生成された仕入データ

有効期限算出方法 分譲を優先的に使った在庫から算 ▼

有効期限自動設定 自動設定しない ▼
※受信した納品データの有効期限が未設定であれば有効期限に納品日の2年後を自動設定します

薬品自動作成 自動作成する ▼
※薬品マスタをレセコンから取得する店舗では使用しないでください

閉じる
隠し設定
設定更新

項目名	説明
仕入単価チェック	仕入画面の単価チェック方法の設定（仕入画面の"値引率"欄の色分けで判断できる）
最終在庫先	医薬品マスタの取引先を入庫する都度更新するかどうかの設定
最終在庫単価	医薬品マスタの単価を入庫する都度更新するかどうかの設定
最終卸仕入数	JANマスタの最終仕入数を更新
最終在庫メーカ	医薬品マスタのメーカ名を入庫する都度更新するかどうかの設定。
仕入控出力方法	仕入控の出力設定
入庫初期表示順	仕入、社内入庫画面のデータの初期並び順を設定
入力画面自動計算	入庫画面の取引金額の自動計算を行うか否かの設定
値引明細処理	卸からの値引伝票を伝票毎に入力する（単価に反映する）か一括値引で入力するかの設定 メニュー画面と入力画面が切り替わる
伝票入力包装選択	伝票手入力画面で、明細に包装まで指定するかどうかの設定
伝票入力確定方法	伝票手入力画面で、入力したデータを仕入画面で確認してから確定するか即確定するかの設定
仕入データの確定日	オンライン未対応卸への発注した際、確定日を発注日にするか空白にするかの設定 （発注データを仕入データにコピーする設定をしている場合）
有効期限算出方法	トップ画面の有効期限をどの在庫からとるかの設定
有効期限自動設定	有効期限を送ってこない卸の仕入データにみなし有効期限を計算する設定（納品日+2年を自動付与）
薬品自動作成	仕入データ受信時にレセコンからの薬品マスタがない物の仮マスタを作成する

8.棚卸

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 発注③ 仕入 出庫 棚卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

棚卸方法 下記設定の並びで棚卸する

在庫記入表の並び替え指定

並替項目①	呼び出し名	並び順	昇順	改ページ有無	改ページしない
並替項目②		並び順		改ページ有無	
並替項目③		並び順		改ページ有無	

棚卸記入表 理論在庫を表示する 棚番毎に棚卸する場合は、並び替え項目の指定は不要です

バーコードを表示する 棚卸時のデータチェックを行わない

実棚数入力 理論在庫を表示する トップ画面の有効期限を棚卸画面でも使用する

EXCEL出力フォルダ

EXCEL取込フォルダ

在庫修正機能を使用する

+ 在庫区分

- 在庫区分

処方棚卸方法 前回処方棚卸以降の処方の差分を表示

閉じる 設定更新

項目名	説明
棚卸方法	棚卸時の品目並び順を指定。自分で並び順項目指定をするか、棚番毎にするかを指定する。この並び順で棚卸記入表出力、実棚数入力をする。
並替項目①～③	在庫記入表の並び順を指定（棚番ごとに棚卸する場合は指定不可）
並び順	在庫記入表の並び順を指定（棚番ごとに棚卸する場合は指定不可）
改ページ有無	在庫記入表の並び順を指定（棚番ごとに棚卸する場合は指定不可）
棚卸記入表	記入表にコンピュータ在庫（理論在庫）を表示するかどうかの設定。記入表にバーコード印字もできます
実棚数入力	実棚数入力画面にコンピュータ在庫（理論在庫）を表示するかどうかの設定
チェック項目	棚卸時に補正日以前の未確定データがあっても実棚数入力にすすめる設定
チェック項目	トップ画面の有効期限を棚卸画面でも使用する
Excel出力フォルダ	実棚数入力画面にあるものをEXCELで出力するときのフォルダを指定
Excel取込フォルダ	EXCELに入力した棚卸データを取込するときのフォルダを指定
チェック項目	在庫修正機能を使用する
処方棚卸方法	処方の出た薬品のみを棚卸するときの差分をどこを基準に判定するか

9.分析

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 発注③ 仕入 出庫 欄卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

デッドストック 赤 360日を超えて出庫(処方)無し
黄 180日を超えて出庫(処方)無し
青 90日を超えて出庫(処方)無し

判定日 最終処方日
猶予日数 90日以内に入庫があれば不動態除外

期限切迫 赤 3ヶ月以内に切れる
黄 6ヶ月以内に切れる
青 12ヶ月以内に切れる

過剰在庫月数 赤 4.0
黄 3.0
青 2.0

@デッドストック 赤 作成後 5日を超えて在庫あり
黄 作成後 10日を超えて在庫あり
青 作成後 15日を超えて在庫あり

在庫引渡判定 不動態 青 以上の不動態
在庫引取判定 過剰在庫月数 黄 以上の在庫
引取数クリア 0日間の出庫(処方)回数が 0回以下

ABC分析 A 80.00% までの薬品
B 90.00% までの薬品
C 上記以降の薬品

閉じる 設定更新

項目名	説明
デッドストック	何日出庫がないと不動態の扱いにするかの設定
判定日	不動態判定にする出庫基準日
猶予日数	出庫がなくても入庫履歴があれば不動態から除外する
@デッドストック	予製の不動態判定
ABC分析	ABC分析の%設定
期限切迫	有効期限のチェック※設定変更は不可
在庫引渡判定	社内移動時に引き渡せる数の判定基準
在庫引取判定	社内移動時に引き取れる数の判定基準
引取数クリア	出庫頻度に応じて引取可能数をクリアする
過剰在庫月数	過剰在庫としてみなす判定月数

10.送受信

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 発注③ 仕入 出庫 欄卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

納品受信フォルダ	C:\\$sdn¥nohin¥	仕入受信日	2014/04/01	納品開始日	
発注送信フォルダ	C:\\$sdn¥hatyu¥	発注送信日	2020/11/01		
移動受信フォルダ	C:\\$sdn¥idor¥				
移動送信フォルダ	C:\\$sdn¥idos¥	出庫移動送信日	2014/04/01		
共有受信フォルダ	C:\\$sdn¥kyoyur¥	共有受信日	2014/04/01		
共有送信フォルダ	C:\\$sdn¥kyoyus¥	JANマスタ受信日	2020/12/12		

ダイヤルアップ	JANマスタを自動受信する	① <input checked="" type="checkbox"/> 次回マザーマスタ受信時にJAN名を更新する
共有コード	個別医薬品コード	② <input type="checkbox"/> 取込チェックの初期値をチェック済にする
器材OTCの社内移動	送信を許可する	③ <input type="checkbox"/> 納品データ受信時に自動で確定する
社内入庫受信	YJコード重複時に自動変換する	④ <input type="checkbox"/> 社内入庫データ受信時に自動で確定する
推奨品データ種別	通常	
不動出庫送信	送信する	

在庫共有データ設定

出庫頻度設定	そのまま表示
最終入庫先送信	送信しない
最終入庫単価送信	送信しない

閉じる 設定更新

項目名	説明
納品受信フォルダ	薬V A N使用時の一時データ保存フォルダを指定
発注送信フォルダ	薬V A N使用時の一時データ保存フォルダを指定
移動受信フォルダ	薬V A N使用時の一時データ保存フォルダを指定
移動送信フォルダ	薬V A N使用時の一時データ保存フォルダを指定
共有受信フォルダ	薬V A N使用時の一時データ保存フォルダを指定
共有送信フォルダ	薬V A N使用時の一時データ保存フォルダを指定
ダイヤルアップ	インターネットでなく電話回線でダイヤルアップで利用している場合包装規格マスタ受信は時間かかるため受信しない設定
共有コード	他店と同一薬品を共有するために使用するコードを指定する。基本は個別医薬品コードを指定する。
器材OTCの社内移動	器材O T Cも社内移動できるようにする設定
社内入庫受信	医薬品マスタのY Jコード重複時に社内移動データを自動変換するかどうかの設定 ("自動変換しない"にすると、「薬品登録」で自分で紐付)
推奨品データ種別	推奨品を表示する際の設定
不動出庫送信	不動品出庫の場合は取引先マスタの分譲データの設定にかかわらずデータを送信するが、取引先の設定を優先する場合に設定する
仕入受信日	直近の仕入データ受信日
発注送信日	直近の発注データ送信日
出庫移動送信日	直近の出庫データ送信した日
共有受信日	共有データを最終受信した日。同一日では共有データは受信されません。ここをクリアすると再受信できます
JANマスタ受信日	包装規格マスタを最終受信した日。同月内は1回のみ受信。クリアすると再受信できます。
チェック項目①	次回マザーマスタ受信時にJAN名を更新する
チェック項目②	取込チェックの初期値をチェック済にする
チェック項目③	納品データ受信時に自動で確定する
チェック項目④	社内入庫データ受信時に自動で確定する
出庫頻度設定	在庫共有画面の◎○△▲表示を在庫ゼロについては表示しない設定にする
最終入庫先送信	グループ店内で共有したい場合は送信するにする
最終入庫単価送信	グループ店内で共有したい場合は送信するにする
納品開始日	設定した日付より以前の納品データは取込しない 初期設定時に納品実績として履歴をすでに取込している場合、納品データを重複して履歴反映しないようにする

11. 帳票

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 発注③ 仕入 出庫 欄卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

出力先フォルダ C:\\$SDN¥

帳票表記文

画面・帳票出力形式 Excel出力

期間帳票の初期日付 月締日に依存する

仕入 集計対象 その他・OTC含む

在庫表

原価計算方法 最終在庫単価

薬価還元率 1.00

最終在庫単価 卸仕入のみ

原価計算区分 四捨五入 小数桁 2

原価金額計算区分 四捨五入 小数桁 2

原価金額計計算区分 四捨五入 小数桁 2

在庫表表示順 呼出名順

① メニュー画面の抽出・並び替えに依存する

② 削除薬品を表示する ※メニュー画面に依存する場合無効

プリンタ名

標準給紙トレイ

閉じる

設定更新

項目名	説明
出力先フォルダ	データを出力した時の保存先（発注控のPDFも含める）
帳票表記文	納品書に表示したい文（入力した文言が納品書の右下に出力される）
画面・帳票出力形式	出力する帳票形式をエクセルまたはCSVから選択できます
期間帳票の初期日付	期間帳票の日FROM～TOを設定。"月締日に依存する"の場合：前月の月初～月末、"今月"の場合：今月の月初～当日
プリンタ名	帳票を出力するプリンターを指定。 ※環境によって有効にならない場合がある
標準給紙トレイ	帳票を出力するトレイを指定。 ※環境によって有効にならない場合がある
集計対象	仕入に関する帳票にOTCその他仕入分を表示
原価計算方法	在庫表の原価対象をどれにするかを設定
薬価還元率	原価計算で薬価還元を設定した時のみ有効
最終在庫単価	在庫単価を計算する最終日をどこにするかの設定
原価計算区分	原価の四捨五入、桁数が選択できます
原価金額計算区分	原価金額の四捨五入、桁数が選択できます
原価金額計計算区分	原価金額計の四捨五入、桁数が選択できます
在庫表表示順	在庫表を出力した時の薬品の並び順
チェック項目①	在庫表の表示をメニュー画面の抽出・並び替えに依存する
チェック項目②	在庫表に削除薬品を表示する

12.帳票

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 発注③ 仕入 出庫 棚卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

納品書設定

メーカー名印字 印字する 習慣性印字 印字する
 規制区分印字 印字する 貯法印字 印字する
 要処方印字 印字する 備考印字 印字しない
 各種区分を全表示する(○付け用)
 ※貯法か備考のいずれかが表示できます
 ※この色の設定は「17年度以降版で有効な設定となります」

納品書種別
 明細金額形式 あり ない
 合計金額形式 あり ない
 OTC分割出力 OTC(その他薬品)を分けて印刷 しない
 出力確認 確認しない 確認する
 領収書に明細を印字する

麻薬譲受証設定

麻薬譲受証印刷 印刷しない 印刷する
 麻薬免許番号
 氏名(法人名)

譲渡書設定

譲渡書印刷 印刷しない 印刷する
 ※出庫画面の帳票です
 譲渡書種別
 譲渡書フリーエリア

譲渡依頼書設定

譲渡依頼書印刷 印刷しない 印刷する
 ※入庫画面の帳票です
 譲渡依頼書種別
 譲渡依頼書タイトル
 ※標準形式の場合のみ有効

請求書設定

請求書種別
 表記文①
 表記文②

閉じる

隠し設定

設定更新

項目名	説明
メーカー名印字	分譲納品書に印字するかどうかの設定
規制区分印字	分譲納品書に印字するかどうかの設定
要処方印字	分譲納品書に印字するかどうかの設定
習慣性印字	分譲納品書に印字するかどうかの設定
貯法印字	分譲納品書に印字するかどうかの設定
備考印字	分譲納品書に印字するかどうかの設定
納品書種別	納品書の印刷項目・レイアウトの設定
明細金額形式	明細金額に ¥ マークを印字するかどうかの設定
合計金額形式	合計金額に ¥ マークを印字するかどうかの設定
OTC分割出力	OTCと通常の医薬品を分けて印刷するかどうかの設定
出力確認	出力時確認画面を表示するかどうかの設定
チェック項目	領収書に明細を印字するかどうかの設定
麻薬譲受証印刷	麻薬譲受証を印刷するかどうかの設定
麻薬免許番号	麻薬免許番号を印字するときに設定
氏名(法人名)	氏名(法人名)を設定
譲渡書印刷	出庫画面で譲渡書を印刷するかどうかの設定
譲渡書種別	譲渡書のレイアウトを選択
譲渡書フリーエリア	譲渡書の下部にフリーの内容を入力できます (納品書種別 = "納品書('17以降版)")の時に有効です)
譲渡依頼書印刷設定	入庫画面で譲渡依頼書を印刷するかどうかの設定
譲渡依頼書種別	譲渡依頼書のレイアウトを選択
譲渡依頼書タイトル	譲渡依頼書のタイトルを変更できます (納品書種別 = "納品書('17以降版)")の時に有効です)
請求書種別	納品書(控)のレイアウトが選択できます
表記文①	振込先口座番号など自由に入力できます
表記文②	振込先口座番号など自由に入力できます

14.その他

システム設定

環境 レセコン 発注① 発注② 発注③ 仕入 出庫 棚卸 分析 送受信 帳票① 帳票② 帳票③ その他 有効期限掛率

外部取込フォルダ _____ DSE出力先フォルダ C:\\$SDN\DSE\

マスタ出力フォルダ _____ OTCマスタパス _____

外部データ種別 薬VAN標準(JANコード) ▾

レセコンへの在庫情報連携
 在庫情報連携機能を使用する

連携パス _____

連携ファイル名 _____

「Melphin」のみ対応

患者情報取込(予製)
患者情報パス _____

予製構成保護 保護しない ▾

予製バーコード入出庫を使用する

バーコード設定値 再設定しない ▾

閉じる _____ 隠し設定 _____ 設定更新

項目名	説明
外部取込フォルダ	ハンディー等、他システムからの棚卸、発注等のデータを取込するとき、連携フォルダを指定
マスタ出力フォルダ	薬VAN専用ハンディーターミナルへマスタを連携するフォルダを指定
外部データ種別	ハンディー等の種別
レセコンへの在庫情報連携	三菱メルフィンへ薬VANの在庫連携する場合に設定する※通常は使用不可
チェック項目	在庫情報連携機能を使用する
連携パス	連携データを出力するフォルダを指定
連携ファイル名	出力する連携データのファイル名を指定
患者情報パス	患者情報を取込するフォルダを指定
予製構成保護	一旦作った予製の薬品構成を変更する場合、その予製を使用していれば、在庫のずれをおこさせないために別の予製マスタを作成する設定
チェック項目	予製バーコード出庫を使用する
バーコード設定値	JANマスタをGTINマスタから自動作成できるようにするか否かの設定
DSE出力先フォルダ	M\$NWのデッドストックエクスチェンジ(DSE)を利用する時、DSE連携用データを作成するフォルダを指定
OTCパス	OTC販売管理用の薬VAN利用時、専用ハンディーターミナルのマスタデータの出力先フォルダを指定

